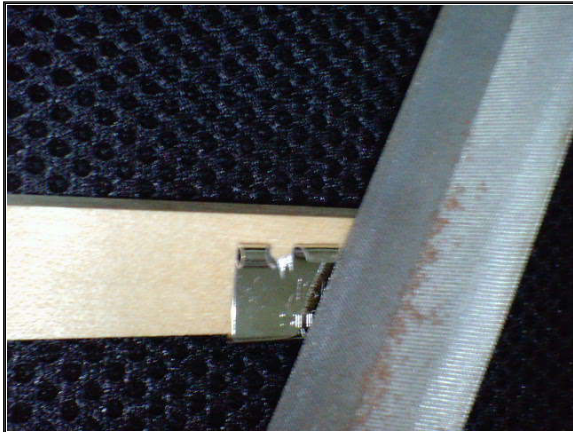


クリップパドルの作り方



つまみが外に開くようにヤスリがけをします。



仕上がりはこんな感じです。

<http://www.geocities.jp/cq7l2vvi/clip.html>

2005/08/24

無題

2/6 ページ



するとこのように、つまみが外に開きます。



次にストッパーを作ります。
右のゼムクリップを、左のように加工します。

<http://www.geocities.jp/cq7l2vvi/clip.html>

2005/08/24



ストッパーをセットし、電極を両面テープで貼り付けます。
電極は、厚さ0.1mmの銅板を使います。
両面テープは、ナイスタック超強力を使いました。
少し厚いのですが、薄いと電極が本体に接触する危険があります。



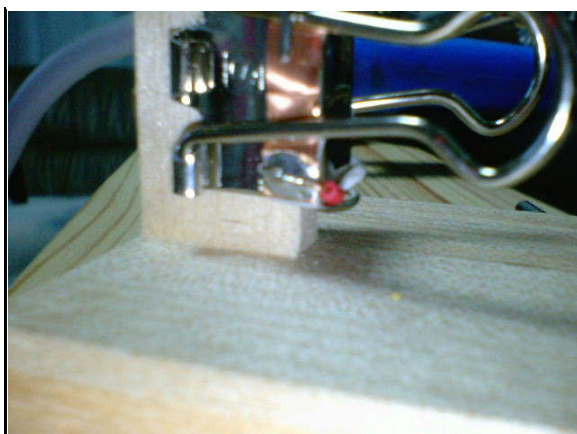
ストッパーを本体に半田付けします。
半田付けはしなくても差し支えありませんが、
後で調整をするときに役に立ちます。

<http://www.geocities.jp/cq7l2vvi/clip.html>

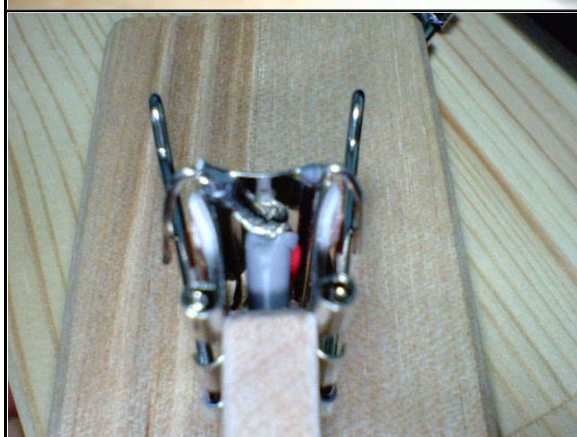
2005/08/24

無題

4/6 ページ



電極にケーブルを半田付けします。
ケーブルは2芯のシールド線、太さは3mmです。



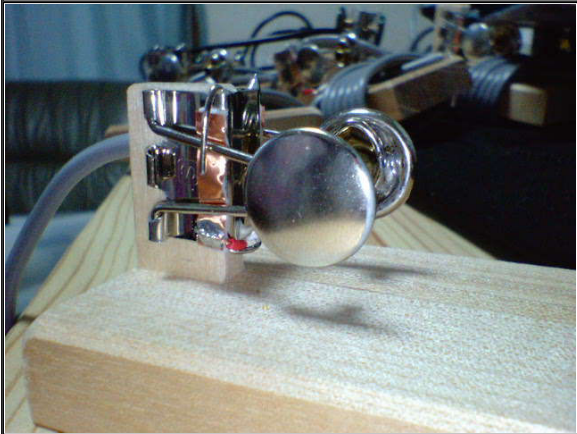
網線を本体に半田付けします。
これはどこでもかまいません。

<http://www.geocities.jp/cq7l2vvi/clip.html>

2005/08/24



つまみにボタンを半田付けします。
ボタンは、ジャンパーなどに使うホックを使用しました。
直径は15mmです。



あとはステレオジャックをつければ完成です。
接点間隔の調整は、ストッパーで行います。
私はこれを100交信以上使いましたが、まったく問題ありません。
見た目よりしっかりしています。

[TOP](#)

<http://www.geocities.jp/cq7l2vvi/clip.html>

2005/08/24

クリップパドルの製作 補足memo

1. 全体構造

全体の加工手順は、別紙の写真に従ってください。
ポイントは、クリップのヤスリがけです

2. ストツパ

ストツパは、別紙と同じく、ゼムクリップで作りますが、もっと簡単にして取り外しも容易にしています。(すぐ外れる欠点も。。。)
ストツパの内側の寸法とクリップ幅をぎりぎりにして、ばねが利いて止まる寸法に仕上げます。(写真下)
外側の寸法を調整して、パドルの動作ギヤップを調整します。

3. 電極

電極は、フレキシブル基板(コネクタ接続用)の切れ端を利用しています。
裏面に両面テープを貼り付けて、クリップの前縁部に貼り付けます。(写真上)
両側の電極と、クリップ本体に、2芯シールドケーブルを半田付けすれば完成です。

